

第37回武豊町地域公共交通会議 議事録

日時：令和3年6月21日（月）

9：30～11：30

武豊町役場 北庁舎2階 全員協議会室

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・それでは定刻となりましたので、ただいまから「第37回武豊町地域公共交通会議」を開催させていただきます。委員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・会議に入ります前に、代理出席のご連絡をいただいております。本日は3名の委員から、委任状による代理出席をしていただいておりますので、よろしくお願い致します。
- ・あわせて、本日の傍聴人は0名です。ご承知おきください。なお、この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますので、よろしくお願い致します。
- ・次に資料の確認をさせていただきます。
- ・開会にあたりまして、会長であります、靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。よろしくお願い致します。

1. 会長あいさつ

○靱山町長

- ・おはようございます。本日はご多忙の中、第37回武豊町地域交通会議に出席いただきありがとうございます。日頃から、それぞれのお立場で町行政、公共交通事業に対してご支援、ご協力をいただき、改めて御礼申し上げます。
- ・前回36回会議では、武豊町にて本年2月にゼロカーボンシティの宣言を行ったことを契機に、車両老朽化により、更新予定の南部青ルートについて、環境に優しい車両の選択を進めており、その結果、電動バスの選択に至り、令和3年5月の武豊町議会臨時議会で可決いただいた。愛知県内の地域公共交通の取組では、EV車は初だと聞いております。詳細の進捗状況については担当より報告させていただきます。
- ・また、本年度3月末に地域公共交通網形成計画は終期を迎えますので、令和3年度中に策定して、令和4年4月から新しい計画で事業を進めます。第6次武豊町総合計画にあります「誰もが安全・安心して快適に移動できるまち」を目指し、コミュニティバスの運行、バスを補う交通、交通の課題を解決していく、地域公共交通を策定していきます。
- ・本日の議案ですが、報告事項5件、議案事項3件とその他1件を予定しています。皆様から忌憚のないご意見をお願いして、挨拶とかえさせていただきます。

2. 新委員の紹介(委嘱状交付)

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・ありがとうございました。続きまして、「2. 新委員の紹介」です。

- ・今年度、新しく委員になられました方々のご紹介をさせていただきます。お名前を読み上げますので、その場でお立ちください。

武豊町議会 議長 石原 壽朗 (いしはら じゅろう) 様

武豊町社会福祉協議会 会長 中川 美知夫 (なかがわ みちお) 様

武豊町老人クラブ連合会 副会長 伊藤 重之 (いとう しげゆき) 様

武豊町商工会 会長 橋詰 弥久雄 (はしづめ やくお) 様

愛知運輸支局 山内 三奈 (やまうち みな) 様

- ・委嘱状の交付につきましては、委員お一人様ずつにお渡しするのが本意であります。コロナ禍において対面を避けるため、机上配布とさせて頂いております。どうぞよろしくお願い致します。
- ・続きまして、5月18日に就任しました、副町長の紹介をさせていただきます。近藤 千秋 (こんどう ちあき) 副町長であります。

3. 役員の選出

○司会 防災交通課長 (長谷川)

- ・続きまして、「3. 役員の選出」です。「規約」第5条第3項において、副会長及び会計並びに監事は会長が指名することとなっております。会長、よろしくお願いします。

○会長：初山町長

- ・会長からの指名をとということですので、私のほうから勝手ながら、ご指名させていただきます。皆様方のご了解をお願いしたいと思います。
- ・副会長に、副町長の近藤 千秋 (こんどう ちあき) さん
会計は、武豊町社会福祉協議会 会長の中川 美知夫 (なかがわ みちお) さん
監事は、武豊町議会 議長の 石原 壽朗 (いしはら じゅろう) さんと、
武豊町老人クラブ連合会 副会長の伊藤 重之 (いとう しげゆき) さんをお願いします。
- ・皆様のご理解を頂きますようよろしくお願い致します。

○司会 防災交通課長 (長谷川)

- ・会長からのご指名であります。近藤さん、中川さん、石原さん、伊藤さん、よろしくお願いします。
- ・それでは、改めまして本日の出席委員は、20名です。
- ・「規約」第6条第3項の規定による、過半数を超えるご出席を頂いており、本日の開会要件を満たしておりますので、これより議事に入らせて頂きます。
- ・「規約」第5条第5項に「座長は交通会議の議長となる。」とありますので、次第の「4. 報告事項及び議案」より、座長であります、伊豆原先生に進めて頂きます。先生、よろしくお願い致します。

4. 報告事項及び議案

(報告事項)

- 報告事項1 本町における地域公共交通の利用実態について……資料1～4

○伊豆原座長

- ・それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。
- ・会長から挨拶でありましたように、報告事項5件、議案3件、その他1件あります。忌憚のないご意見を頂戴して、よりよい交通施策を進めていただくようよろしくご審議をお願いします。報告事項1の「本町における地域公共交通の利用実態について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。ただいま、ゆめころんの利用実績、接続タクシー等の利用実績について報告がありました。
- ・ご質問等ありますか。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・利用の低い停留所について、利用実態を確認するとの説明がありました。公共交通とは何かという点について確認しておきたい。
- ・利用が少ないところは、問題かどうかという点、公共交通の存在意義を失いかねない点に注意してください。利用されている方がいれば、その価値がある。利用されている方は、それ以外の手段を持たないかもしれないためです。

○伊豆原座長

- ・大変良いご指摘をいただいた。数値にとらわれなくて、利用実態に留意して、検討をお願いしたいとの意見でした。
- ・コロナ影響は、他の地域も同じ。ゆめころんの利用者数は、早く回復していると思う。4、5月は多く利用された。本当に必要とされていると思う。大変良い議論ができていると思う。
- ・町長からも電気バスの導入の話もあり、町はトップを走っている状況について、住民と会話をしてほしい。ぜひよろしくお願ひしたい。
- ・利用報告は確認されたとして、進めさせていただきます。

●報告事項2 令和2年度武豊町地域公共交通事業の事業報告及び決算報告について

…資料 5-1/5-2

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項2の「令和2年度武豊町地域公共交通事業の事業報告及び決算報告について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。令和2年度の事業報告と決算報告をいただきました。
- ・ご質問等ありますでしょうか。
- ・よろしいでしょうか。ワークショップは、壺町田地区を含めて6回ご意見をいただきました。事務局は精力的に動いていただいた。たいへんよい議論が進んでいると思います。
- ・ご質問がないようですので、確認いただいたとして、次に進みたいと思います。

●報告事項3 令和3年度住民ワークショップの予定について…資料6

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項3の「令和3年度住民ワークショップの予定について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。今年度、延期をしましたが、コロナの状況をみながらワークショップを進めたいとの報告をいただきました。ご質問等ありますでしょうか。
- ・私からお願いです。ワークショップの日程が決まりましたら、事業者さんも住民の声を聞く機会として、参加をしていただくようお願いしたい。事業者さんには苦勞して運行していただいている。みんなで使い方を再発見する、意見交換をしながら、運行を進めるべきだと思う。住民と行政だけでなく、ほかの関係者も時間を許せばお願いしたい。
- ・ご意見がないようであれば、是非、事務局にアドバイスをさせていただくようお願いして、老人会、サロンでも意見交換して、事務局に意見をまとめていただくようお願いしたい。日程が決まりましたら、関係者の皆さんに報告ください。
- ・報告を確認したとして次に進めさせていただく。

●報告事項4 南部青ルート車両更新について……資料7

○伊豆原座長

- ・続きまして、報告事項4の「南部青ルート車両更新について」です。事務局より説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。検討をいただいている状況の報告です。

○石原委員（町議会議長）

- ・電気バスの議案を提案いただいた際に、ゼロカーボンシティの宣言後の提案で、議会では反対はありませんでした。電気バス利用で、ゼロカーボンシティの推進に役立つことになりま
す。住民意識を高める施策をお願いします。

○事務局

- ・他の課へも電動バスの情報を共有し連携していく。連携しながら電動バスを使った事業を計
画し、住民への案内を進めていこうと考えている。

○伊豆原座長

- ・県内で初めて。住民の方が胸をはれるようにしていただけると良いと思う。SDGsは子ども
も知っている。共通話題として取り上げられることは重要だろう。PRを進めて下さい。
- ・他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。車両を導入することになったので楽しみに
待っていただきたいと思う。全員で確認したとして、次の議事に移ります。

●報告事項5 コミュニティバス乗車50万人の達成について……………資料8

○伊豆原座長

- ・報告事項5「コミュニティバス乗車50万人の達成について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。11年で50万人達成、良い話だと思う。ご意見、ご質問はござ
いませんか。
- ・次は何万人で同じことをされますか。節目節目でこうしたことをしていただくことは良いこ
となので、是非進めて下さい。広報の対応はいかがでしょうか。

○事務局

- ・資料の写真を広報に掲載させていただきました。

○伊豆原座長

- ・是非、話題にしてください。確認いただいたとして次の議事に移ります。

（議案）

●議案第1号 令和3年度武豊町地域公共交通会議予算の変更について……………資料9

○伊豆原座長

- ・ここから、議案となります。議案第1号「令和3年度武豊町地域公共交通会議予算の変更
について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。予算の変更です。補助金のルールがこうなっているので、変更を行いました。ご質問等ありますか。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・事務局より丁寧にご説明をいただいた。補助金は、法律に基づいています。昨年秋に地域公共交通活性化再生法が改正されました。補助対象が、法定協議会に変更されたため、その変更になります。法の改正なので、ご理解をお願いしたい。

○伊豆原座長

- ・今年の会議で法律改正については、報告されている。調査補助だけでなく、バスの運行補助も法定協議会宛てになりますか。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・幹線以外の車両購入、運行補助についても、法定協議会宛てになります。コミュニティバスの運行をここで決めていくことが重要になってきます。補助金の対象もこちらで議論することになります。

○伊豆原座長

- ・この会議がお金の執行機関になっていく。町からは負担金としてお金をだしていただき、執行はこちらの会議で決めていく。調査の委託費も執行していくことになります。
- ・よろしいでしょうか。
- ・武豊町は22年に計画を策定した。その当時の出席者は、私、町長、副町長、櫻場さんぐらい。当時も補助金の執行機関は法定協議会でした。その後、町に執行機関がかわりましたが、再度法律の改正で、交通会議が執行機関になりました。
- ・法律のルール上、この形になりますので、全員の同意をいただいたとして、次の議事に移ります。

●議案第2号 武豊町地域公共交通計画(案)について……………資料 10-1/10-2

○伊豆原座長

- ・それでは、議案第2号「武豊町地域公共交通計画（案）について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。来年度以降の事業を規定する新しい交通計画を策定することについて、ご意見をいただきたいという議事です。説明いただいた内容について、ご意見、ご質問はございませんか。

○石原委員（議会議長）

- ・分かりやすい具体的な目標となっていると思う。
- ・一方で、町はゼロカーボンシティの宣言を行った。計画を見ると、職員にとっては、環境配慮はあたりまえになっているのか、この計画には環境との接点が見えてこない。何か環境との接点を示すことが重要だろう。

○伊豆原座長

- ・大変重要なご意見です。

○事務局

- ・青ルートで電気バスの導入を行います。昨年度に導入した赤ルートのバスもディーゼルから電気バスに変更すべきとの意見も耳にしているので、ゼロカーボンシティについても組み込んでいく。

○伊豆原座長

- ・環境対策は色々な施策と関連がある。方針の前に、整理しておくことも重要かと思う。しっかり位置づけを。

○会長：靱山町長

- ・ゼロカーボンシティについて今年2月に宣言した。まちぐるみで取り組んでいく。保育園から一般の人まで、いろんな世代の人から意見をもらいながら、計画をつくっていく予定。
- ・交通分野でも重要な視点なので、具体的なことを示したい。愛知県内でも電気バスは初めてなので、こうしたことをPRしていきたい。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・ゼロカーボンシティについて触れることも大切だと思う。電気バスの導入も売りだと思う。
- ・一方で、将来像の「だれもが」という部分について、その対象について具体的に示してもらえると、よい計画になっていくと思う。地元で根差した良い計画になる。新しいバスは、バリアフリーの基準を満たしているはず。高齢者、妊婦、障がい者を含めて誰もが利用できるものだと思う。そうした方々を受け入れることが配慮されていること、目線に入っていることを入れていただきたい。
- ・事業者についてもそうした人が乗車する時に、まごまごしない。乗車されている人も、隣に障がい者が座ることも意識して、まち全体として、配慮できることを考慮していただけるとよいと思う。

○事務局

- ・事業当初から福祉バスの側面もあり、職員は理解しているが、住民にまでしっかり届いているか再認識したい。事業者も理解して受託していただいている。
- ・計画については、そうした点に留意して、示していきたい。保育園にも乗車体験のPRをしていることを含め、そうした点の説明を記載していく。ご指摘ありがとうございます。

○伊豆原座長

- ・法律改正は画期的だと思う。この交通計画は、施策の基本になる。平成22年から「ゆめころん」を走らせてきた。これまでの経緯を説明しておきたい。
- ・課題も重要であり、課題から計画を作成することは本筋だとは思いますが、自分たちが行ってきたことをPR、説明しておくことも重要だろう。国、県から表彰されていること、そういうことも示しておくことも大切だろう。
- ・この町で何をして、どんな評価がされてきたか。説明して、住民にとって誇れることを示しておくべき。自己評価で構わない。住民にメッセージを示すことが重要だろう。
- ・4頁の財政支援額は、×だが、数字上ではそうだが、何をしたか。自分たちはどのように評価しているのかを説明しておくべきではないか。高齢者の無償化を決めた。運賃収入は減るのは当たり前。予想以上の減少があれば×だが、それ以上の効果があればよい。5頁の△は賛成です。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・今回の計画については、交通分野の総合計画に近いものだと思う。
- ・都市計画などの上位計画との整合をとっていくことも重要。今回作ろうとしているものは、もっと理念的なものを含めてもかまわない。コミュニティバスだけでなく、福祉タクシーなども。また、上位計画の理念も踏まえて、こうした交通が必要だということを議論して、記述しておいてほしい。

○伊豆原座長

- ・いろんな計画があるので、参考にしながら、交通の理念を示しておいて欲しい。こだわる理由は、この会議が執行機関になっていくため。

○櫻場委員（コミュニティバス生活の足を考える会代表）

- ・バスに乗るだけでなく、移動する手段として捉えるといろんなことが考えられる。
- ・バスに乗るのは、歩くことができないと、何もできない。歩くことができることが大切だということも計画に盛り込まれていると良い。

○伊豆原座長

- ・事業者から何かご指摘はないか。「だれもが」という定義も重要です。住民だけでなく、武豊に訪れる方も含むということ。来てくれる人、就業される方もいる。そうした意識も持たないといけないかもしれない。

○深谷委員（タクシー協会）

- ・課題はとりまとめられている。課題に対して、今後どうしていくかが示されていない。

- ・接続タクシーは、アンケートにおいて「わからない」という意見が多い。ワークショップで示しているが、それでも「わからない」という声がある。2～3名の人しか利用されていない。利用者の意見を踏まえるなどして、具体的にどうしていくか考えているのか伺いたい。

○事務局

- ・課題対応、課題の解決のために、住民ワークショップ、地区ワークショップを行ってきた。バスのルートが通っていない壱町田地域の方のご意見も伺った。
- ・あと2回ワークショップを実施するが、ほかに壱町田地区でも計画している。その意見も含め接続タクシーの新しい利用方法について検討していく。

○伊豆原座長

- ・ワークショップを進め、課題対応のための事業検討を進めて下さい。

○水谷委員（富貴地区区長会長）

- ・笠松地区と石田地区はコミュニティバス停留所から外れている。バス停までかなり歩かないといけない。接続タクシーの存在は知らなかった。PRをしているのかもわからない。知らないということが問題と思う。遠くてもタクシーを使ってバスに乗り継げば、経費もあまりかからないということをうまくPRしていただきたい。

○伊豆原座長

- ・一度使ってもらいたい。使うことで知ってもらい、広げていきたい。

○事務局

- ・周知もなかなか届いていないこともあり、数字が伸びていないのかもしれない。7月からサロンが再開すると聞いているので説明していきたい。それぞれの地区で、説明会の要請があれば実施していきたいと考えている。

○伊豆原座長

- ・武豊町のサロンは、他の地区から見るとすごく画期的な運営がされている。地元の人には知らないのかもしれない。公共交通は、いろんなところでPRしないといけないのかもしれない。
- ・ほかに意見はないか。本日すぐに無理でも、後日、事務局に伝えて下さい。
- ・今年1年間で計画を作成していく。12月に概ね完成のカタチにもっていくスケジュールとなっています。ご意見をください。
- ・本日は、この形で進めさせていただくことを承認いただいたとします。

●議案第3号 令和4年度生活交通確保維持改善計画(案)について……………資料 11

○伊豆原座長

- ・それでは、議案第3号「令和4年度生活交通確保維持改善計画（案）について」事務局から説明をお願いします。

○事務局説明（田中）

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。国の補助金をうけるためフィーダー系統については、6月中に国に計画を提出する必要があります。また、国に提出後、微修正がある場合は、事務局に対応を一任することもあわせてお願いしたい。ご意見ありますか。

○石原委員（議会議長）

- ・利用実績と将来目標の数字について、補助金計画の令和6年の数字と、交通計画の目標値の令和7年の数値は、かなり乖離があるがよいか。

○事務局

- ・交通計画 18 頁の将来目標は、総合計画の数値目標の数字を反映しています。
- ・補助金計画は、コロナの影響を踏まえた数字で、実態に即しています。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・補助金計画は、一部微修正するかもしれませんが、数値目標は、基本この数字を活用します。
- ・交通計画の将来目標値 72,000 人は、実態に即した目標にすればよいと思う。次回計画には、評価指標、KPI を設定することになる。
- ・補助金計画の資料 11 は、交通計画の資料 10-1 の別添資料として位置付けて扱います。

○伊豆原座長

- ・最終的には整合性を持たせるべきだと思います。コロナの影響をどこまでみるのか、実績に基づき設定するか、議論していきましょう。

○澤木委員（愛知県都市整備局交通対策課）

- ・愛知県では、幹線系統について、県で協議します。県内から 64 系統の申請を行う予定です。

○伊豆原座長

- ・他のご意見はありますか。あとは愛知運輸支局と相談し、修正は事務局に一任する対応をお願いしてよろしいでしょうか。特にご意見ありませんので、承認をいただいたとします。

5. その他

●武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等

○伊豆原座長

- ・それでは、次第の4. その他に移ります。「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の活動計画等」についてです。会長であります櫻場さんよりご報告をお願い致します。

○櫻場委員（生活の足を考える会代表）

- ・ これまでは利用促進友の会として、利用促進を中心に進めてきた。今後は、町長に要望することも交えて発言したい。
- ・ 利用促進については、一定の利用がなされるようになり成果を取めたと思う。今以上の利用を目指すには、利用してる人が限定されている状況なので、新たな利用者の取り込みが必要。
- ・ 免許返納を進めたいが、交通手段がないと返納されない。今の状況では少しこころ細い。例えば、バス停留所まで遠い。歩かないといけないという点は、高齢者にとってはつらい。バスを補うものとして、タクシーがある。接続タクシーの制度は分からないという意見があり、シンプルにすべきだと思う。
- ・ 初乗り料金 600 円の内、200 円を町が補助する。タクシーなので、家まで迎えに行く。タクシーは贅沢なものという認識が一部であるため、タクシーに乗る機会を増やしたい。
- ・ 町長の公約で、ウォークアブルなまちをつくるというマニフェストがあった。休憩できるところを増やしたい。イス、トイレ、水飲み場を 500m 間隔で設置したい。
- ・ 町内には、ちびっこ広場が 64 箇所もある。ただ、遊具があるだけで、休憩できる東屋が欲しい。公園は 25 箇所ある。公園にはトイレ、水飲み場があるものの、5 箇所のトイレが壊れていて使えない。
- ・ これを直していく、改善していくだけで、ウォークアブルなまちになる。みんな知らないので、こうした休憩場所があることを周知していきたい。
- ・ ちびっこ広場をめぐるツアーや、64 箇所をめぐるスタンプラリーなども行いたい。4～5 km 歩くようなコースなどもつくりたい。
- ・ 私だけではできないので、生活の足を考える会で、グループを立ち上げて、対応していきたい。バスに乗りながら、体力をつけていく、まちづくりの方向性を示していきたいと思う。

○山内委員（中部運輸局愛知運輸支局）

- ・ すばらしい意見だと思います。
- ・ 一方で、バスとタクシーが同じお客を奪い合わないよう注意もして欲しい。仕組みを間違えると共倒れになってしまうので、そうならないように気を付けて下さい。

○櫻場委員（生活の足を考える会代表）

- ・ 接続タクシーは、乗車するバス停と降車するバス停が決まっている。新しいタクシーは、自宅からバスに乗り換えるようバス停まで移動する手段。バスに乗るためのタクシーという位置づけは変わらないものを考えたい。

○伊豆原座長

- ・ 生活の足を考える会の協力を引き続きお願いしたい。
- ・ 本日の議題は以上です。交通会議はスケジュールの説明であったように、年 3 回程度の開催です。貴重な機会ですので、ご意見等あればお願いします。
- ・ よろしいでしょうか。本日、貴重なご意見をありがとうございました。
- ・ 進行を事務局にお返しします。

6. 閉 会

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・伊豆原先生、ありがとうございました。
- ・それでは、次第の5. 閉会に移ります。閉会にあたりまして、会長であります靱山芳輝武豊町長よりご挨拶を申し上げます。

○会長：靱山町長

- ・長時間にわたりありがとうございました。まちづくりの参考になるご意見をありがとうございました。
- ・伊豆原先生、進行ありがとうございました。
- ・櫻場委員には、これまでベンチをつくっていただきました。自宅から停留所までの新しいタクシーの補助について指摘いただきました。ウォークアブルなまちづくりを進めます。トイレについては、実は難しい問題で、これまで修理してきましたが、壊れることが繰り返して起きています。都市計画課長にも参加いただいているので、いっしょに考えていきたい。
- ・新しいタクシーの補助の仕組みは、担当より詳細をまだ聞いていないので、確認させていただく。休憩する場所の確保については、設置基準はいろいろあると思うが、公園に東屋をつくっていくことについては、新しい公園をつくる時には検討できるかもしれない。
- ・利用を促すためのイベントも考えたい。商工会の会長も委員として参加していただいているので、いっしょに考えていきたいと思う。
- ・これまで武豊乙姫さんが、7年間にわたって武豊町のPR活動をしてきていた。今年の3月で卒業されたため、新しい方に代わります。東海市にて「知多娘。」を選考することになっているので、武豊乙姫さんも新しく選考することになるだろう。また、PRを協力いただいで一緒に進めていく。
- ・委員の皆様からは、貴重なご意見、提言をたくさんいただきました。より良いまちにしていきたいと思う。本日はありがとうございました。

○司会（防災交通課長 長谷川）

- ・次回「第38回武豊町地域公共交通会議」令和3年12月上旬に開催する予定です。
- ・ありがとうございました。以上をもちまして「第37回武豊町地域公共交通会議」を閉会いたします。ありがとうございました。

以上